

2024～2025 年中小企業の IT 経営研究部会の活動について

田口由美子（たぐち ゆみこ）
近畿大学
岡田浩一（おかだ こういち）
明治大学

1. はじめに

本研究部会は、中小企業の IT 経営を主体的に担ってきた実務家、および中小企業の活性化、地域支援に係る諸機関・団体と連携を図り、中小企業の IT 経営のあるべき姿を探求し、中小企業の経営力強化を通じて日本の産業振興に寄与することを目的として、2012 年 4 月 4 日に発足した。この目的を達成するために実施している活動は以下の 4 つである。

- A. 研究総会
事業報告および事業計画の発表とシンポジウム
- B. 静岡県浜松において合宿形式の勉強会
年に 1 回夏季に、静岡県浜松において 2 泊 3 日合宿形式の勉強会
- C. 経営情報学会秋季大会の参加
研究部会セッションとして、中小企業の IT 経営に関する発表と交流
- D. 機関誌発行
中小企業の IT 経営に関する調査・研究の成果として機関誌「IT 経営ジャーナル」の発行

現在のメンバーはビジネスパーソン、IT コーディネータ、研究者など約 40 名在籍している。

次章以降で、2024 年～2025 年に行った各活動の概要を紹介する。

2. 総会

総会は年に 1 回春季に行っており、2 部構成からなる。前半は、研究会メンバーと研究会の目的の確認、活動の振り返りと、今後の 1 年間の計画を立案する。後半では、シンポジウムを行っている。2024 年および 2025 年のシンポジウムの概要は次の通りである。

2.1 2024 年シンポジウム

2024 年はハイブリッドで開催した。参加者は 49 名であった。概要は次の通りである。

(1) 日時：2024 年 4 月 20 日（土）14:40～17:00

(2) 実施方法：

- ・ハイブリッド（対面と Zoom）
- ・対面会場：明治大学

(3) 内容

■テーマ：中小企業経営に必要なキーテーマ
～DXの目指すべきもの～

■キーノート・スピーチ

登壇者：門田進一郎氏（リンクスペース株式会社代表取締役 CEO）

■パネルディスカッション

テーマ：中小企業が取り組む必要があること

登壇者：

田中恵子氏（（株）ぐるなび、ななおなかのと DMO 派遣アドバイザー）

道越万由子氏（（株）BEYOND 代表取締役社長）

高橋里歩氏（（株）ロジックスサービス）

■司会

木村知司（クラウドサービス推進機構）

大串葉子（同志社大学）

2.2 2025 年シンポジウム

2025 年はハイブリッドで開催した。参加者は 56 名であった。概要は次の通りである。

(1) 日時：2025 年 4 月 19 日（土）15:30～17:00

(2) 実施方法：

- ・ハイブリッド（対面と Zoom）
- ・対面会場：明治大学

(3) 内容

■テーマ

パスワード化した DX の向こう側

■登壇者

坂下哲也氏（（一財）日本情報経済社会推進協会
常務理事）

松島桂樹氏（CSPA 特別研究員、（公財）ソフト
ピアジャパン理事長）

■司会

小松靖直（CSPA 理事、全国観光土産品連盟専務
理事）

3. 浜松で実施する合宿形式の勉強会（浜名湖 フォーラム）

年に1回夏季に、静岡県浜松において対面で2泊
3日合宿形式の勉強会を実施している。通称、浜名
湖フォーラム、と呼んでいる。本会は、一般社団法
人クラウドサービス推進機構、と共催で実施してい
る。各分野で活躍するビジネスパーソン、IT コー
ディネーター、中小企業支援者、大学関係者など、が
参集し、IT 活用をテーマに発表、意見交換を行っ
ている。参加のしやすさを考慮してハイブリッドで
開催した。2025 年は諸事情により岐阜で実施した。
概要は次の通りである。

3.1 2024 年浜名湖フォーラム

2024 年は参加者 43 名、発表件数 22 件である。

(1) 日程

期間：2024 年 9 月 6 日（金）～9 月 8 日（日）

実施方法：ハイブリッド

対面会場：アクトシティ浜松 研修交流センター

(2) 発表内容

- 1) 高島利尚（TMI／経営情報学会・中小企業
の IT 経営研究部会）「小規模企業の DX 促進
に向けての仕組みづくり」
- 2) 柏原剛（（株）柏原）「デジタルが変える明日
の自分」
- 3) 向正道（開志専門職大学・日鉄ソリュー
ションズ）、栗山敏（ビジネス・ブレイクス
ルー大学大学院）、栃川昌文（（株）ビジネス・
アイ）「非 IT 中小企業における IT を用いた
組織変革の成功要因の研究—デジタル化成
功企業 8 社の事例研究を通じて」
- 4) 隈正雄（筑波技術大学名誉教授）「経営者の
本音に基づいた DX 推進」

- 5) 松島桂樹（クラウドサービス推進機構）「中
小企業の DX 最前線、その課題と支援戦略」
- 6) 明神知（北海道情報大学）「中小企業におけ
る生成 AI 活用」
- 7) 加藤敦（同志社女子大学特任教授）「2023 年
OpenAI 社の内部抗争：若手理事が職を賭け
訴えたものは何か」
- 8) 近藤信一（岩手県立大学）「中小企業の DX
推進を効果的にするための伴走支援する中
間支援機関（商工指導団体・産業支援機関
など）のリスクリソング実態調査報告と今後
の研究活動」
- 9) 佐々木康浩（信州大学／三菱総合研究所）「地
域活性化人材の育成に向けて」
- 10) 中村龍太（コラボワークス／サイボウズ／
日本大学）「エフェクチュエーションという
考え方を学ぼう～熟達した起業家が行う思
考モデル～」
- 11) 竹政昭利（（株）オーグス総研）「日本的イノ
ベーションの考察その 2」
- 12) 宗平順己（武庫川女子大学）「製造業におけ
る AI 活用の変化」
- 13) 田中克昌（文教大学経営学部経営学科）「林
業における協同組合を活かした持続可能な
DX の実現」
- 14) 歌代豊（明治大学）「ダイバーシティとイノ
ベーションの微妙な関係：組織と人材の関
係とあり方を問う」
- 15) 細見純子（2030 年の質価値創造研究会）
「SDQ キューブの考え方と実践のための
ツール」
- 16) 原善一郎（原善一郎技術士事務所）、栗山孝
祐（（株）スターシステム）、田中勝弘（（株）
中電シーティーアイ）「IoT システム構築時
の課題体験記（RaspberryPi で初めて試作機
を作る体験）」
- 17) 加藤智康（（株）パロマ）、萬代みどり（萬
代みどり技術士事務所）、若原達朗（SAAJ
中部）、石川義治（SAAJ 中部）「中小製造業
における IoT 活用のためのシステム管理ガ
イドラインに関する研究」
- 18) 石井昭紀（（株）イージフ）「文書情報マネジ
メントの海外トレンド、生成 AI の受容」

- 19) 大嶋淳俊 (宇都宮大学)「DX時代の中堅・中小企業における次世代経営リーダー育成の課題」
- 20) 大橋知子 ((有) ボランチ21)「再発見! デジタルの本質」
- 21) 加藤京子 (H・Rサポート代表)「嫌われない上司になって、部下と良い関係を築いていきましょう」
- 22) 田中渉 ((株) 東京 IT 経営センター)「どうする中小企業の DX, 先が見えない中小企業を助けるのは誰だ?」

3.2 2025 年浜名湖フォーラム

2025 年は参加者 49 名, 発表件数 26 件である.

(1) 日程

期間: 2025 年 9 月 5 日 (金)~9 月 7 日 (日)
 対面会場: ソフトピアジャパン (岐阜)

(2) 発表内容

- 1) 佐藤忠彦 (ものづくり空間 Fab-Core)「ソフトピア施設見学会 & 体験会」
- 2) 難波田隆雄 (公益財団法人ソフトピアジャパン)「産学官連携による DX 推進の支援について」
- 3) 高島利尚 (TMI / 経営情報学会・中小企業の IT 経営研究部会)「我が人生を振り返る キャッチャー人生」
- 4) 柏原剛 (株式会社柏原剛)「やりたいことをデジタルで明確に」
- 5) 栃川昌文 (株式会社ビジネス・アイ)「IT コーディネーターって何?」
- 6) 和田敬三 (株式会社大興)「失われていない 30 年」
- 7) 栗山敏 (ビジネス・ブレイクスルー大学大学院)「大企業には DX は無理! ?」
- 8) 田中克昌 (文教大学経営学部経営学科)「障がい児者の成長と共創を促すビジネスコンテスト」
- 9) 加藤敦 (同志社女子大学特任教授)「AI 社会の技術的不確実性と中小 IT ベンダーの戦略」
- 10) 原島啓輔 (センターフィールド株式会社)「企業内システム連携 (LinkRevo) のその後の活動報告」
- 11) 明神知 (北海道情報大学名誉教授)「計測と

制御とシステムダイナミクス」

- 12) 松島桂樹 (クラウドサービス推進機構)「AI の可能性と不可能性~システム概念の変革~」
- 13) 竹政昭利 (株式会社オージス総研)「日本的イノベーション組織の考察 #3: 企業と企業の関わり編」
- 14) 近藤信一 (岩手県立大学)「県内中小企業の実効的な DX 支援のための支援に要する前提知識の共通化及び支援方法の標準化手法の開発」
- 15) 小松靖直 (クラウドサービス推進機構)「地域・中小企業の稼ぐ力と CSPA」
- 16) 佐々木康浩 (信州大学 / 三菱総合研究所)「スキル標準の再構築と「スキルファースト」時代の到来」
- 17) 成田剛史 (株式会社 NaRiT Hub)「DX の企画から実践までの事例紹介」
- 18) 藤川豊 (中小企業診断士)「中小企業への IT ツール導入支援で感じたこと」
- 19) 田中渉 (株式会社東京 IT 経営センター)「誰がレガシーシステムからの脱却を支援するのか?」
- 20) 原善一郎, 栗山孝祐, 田中勝弘 (原善一郎技術士事務所, 株式会社スターシステム, 株式会社中電シーティーアイ)「生成 AI 利用のポイント <公認システム監査人の視点>」
- 21) 宗平順己 (武庫川女子大学)「機械学習 AI と生成 AI」
- 22) 石井昭紀 (株式会社 イー ジフ)「AI + IM Global Summit 視察報告~ AI 技術の進化と情報マネジメント・ガバナンスの役割~」
- 23) 大嶋淳俊 (宇都宮大学)「地方国立大学におけるシンクタンクの設立と課題: デジタル×経営を中心に」
- 24) 加藤智康, 石川義治, 萬代みどり (株式会社パロマ, SAAJ 中部, 萬代みどり技術士事務所)「中小製造業における IoT 活用のためのシステム管理ガイドラインに関する研究」
- 25) 細見純子 (2030 年の質価値創造研究会)「SDQ キューブにおける AI 活用提案」
- 26) 吉丸滋美 (共同印刷株式会社)「ペルソナ作成・アイデア創造における AI の実力と課題」

4. 経営情報学会秋季大会への参加

2024 年および 2025 年の経営情報学会の研究発表大会の研究部会セッションで研究および事例報告を行った。生成 AI の導入が進む中での中小企業や自治体における生成 AI の活用の現状や課題を共有することができた。概要は次の通りである。

4.1 2024 年の研究部会セッション

(1) 日程：2024 年 11 月 17 日（日）14:00～15:00

会場：西南学院大学

(2) 発表内容

テーマ：「生成 AI の業務への活用」

■研究報告

津田博（大阪経済法科大学）「自治体の生成 AI 活用は進んでいるのか」

■事例報告

富田良治（TITC 合同会社）「中小企業の業務における生成 AI の活用事例」

4.2 2025 年の研究部会セッション

(1) 日程：2025 年 10 月 26 日（日）11:00～12:00

会場：北海学園大学

(2) 発表内容

■研究報告

峰滝和典・文能照之・井戸田博樹（近畿大学経営イノベーション研究所）「中小企業の新規事業への取組を促進する要因に関する実証研究」

■事例報告

富田良治（TITC 合同会社）「MCP, AI エージェント連携による生成 AI を用いた中小企業の活用事例」

5. 機関誌発行

本研究部会は、中小企業の IT 経営に関する調査・研究の成果として機関誌「IT 経営ジャーナル」を年 1 度のペースで発行している。2024 年は第 11 号、2025 年は第 12 号を発行した。

5.1 IT 経営ジャーナル第 11 号

IT 経営ジャーナル第 11 号では、査読付論文 1 件、投稿論文・レポート 2 件、等収録している。掲載内

容（目次）を以下に示す。

ご挨拶

播磨崇 クラウドサービス推進機構理事長

〈査読論文〉

「地方中小事業者にとってのオンラインツアーの課題と可能性～東北復興支援・地域活性化の視点から～」

大嶋淳俊 宇都宮大学

〈投稿論文・レポート〉

「京都市中小企業デジタル化推進事業について～600 社以上の補助金支援を通じて得られたもの～」

下村敏和 特定非営利活動法人 IT コーディネータ京都

IT 化推進に向けた自律的なコミュニティづくり「社会システムにおけるアナログとデジタルの相関性と退化現象」

鳥居義孝 TORY'S TRADING & ADVISING

〈研究会報告〉

「クラウドによる中小企業をめぐる企業連携の展望」

松島桂樹 クラウドによる企業連携研究会主査、
クラウドサービス推進機構理事・特別
研究員

一般社団法人経営情報学会 中小企業の IT 経営研究部会とクラウドサービス推進機構（CSPA）共催による研究会

田口由美子 近畿大学

編集後記

岡田浩一 クラウドサービス推進機構理事

5.2 IT 経営ジャーナル第 12 号

IT 経営ジャーナル第 12 号では、査読付論文 1 件、投稿論文・レポート 2 件、等収録している。掲載内容（目次）を以下に示す。

巻頭言

播磨崇 クラウドサービス推進機構理事長

〈査読論文〉

観光 DX におけるビジュアル性とストーリー性～地方都市の観光デジタルマーケティング戦略の構築～
大嶋淳俊 宇都宮大学

〈投稿論文・レポート〉

小規模事業者の IT 活用～身近な課題解決から～
西川邦広 経営共創インスパイア代表 中小企業診断士

IT 化推進に向けた自律的なコミュニティづくり「社会システムにおけるアナログとデジタルの相関性と退化現象 Vol 2」

鳥居義孝 TORY'S TRADING & ADVISING

〈研究会報告〉

「クラウドによる企業連携 (EDI) 研究会」研究報告「企業間業務連携における DX の本質的課題」

松島桂樹 CSPA 理事・特別研究員, クラウドによる企業連携研究会主査

経営情報学会 中小企業の IT 経営研究部会 活動報告

田口由美子 近畿大学

編集後記

岡田浩一 一般社団法人クラウドサービス推進機構理事

6. おわりに

当研究部会は、2026 年 4 月の第 15 回総会をもって経営情報学会における活動を終了した。14 年余りにわたる活動を通じ、経営者、実務家、支援者、研究者が立場を超えて交わる実践的な知見共有の場をつくり、学会発表や機関誌発行等において中小企業 IT 経営の知見を発表するという成果をあげることができた。長年にわたり本研究部会の活動をご支援・ご協力をいただいたすべての皆様に、深く感謝申し上げたい。